京城新報

●肺結核の豫防(九)

贊化病院　河野作藏

△肺結核の豫防

肺結核豫防は前に論じたる事實と道理に歸納するので既に述し如く肺結核なる疾病は其原因たる結核菌と結核菌に感染し易き素質と結核菌に觸接する機會との三因子によりて成立するものである故に之を絶無にするか若しくは其分量及び性質を減少せしむると云ふに過ぎない是れは獨り肺結核病のではない他の傳染病も此方針で豫防するものである

第一　結核菌に對する豫防は患者の略痰を消毒して之を無害にすることがある

第二　感染素質を少くすることは小兒時代より其營養と發育狀態に注意し所謂腺病体質を强壯ならしめ又職業上の關係で傳染素質をなすものは之を避け工場の如きは其採光法換氣法工夫の勞働時間及營養狀態等の如き衛生事項に注意を拂ふことである

(一)小兒期の營養と發育狀態に尤も影響を及すものは哺乳である此哺乳は天然營養即母乳と人工營養即ち多くは牛乳とは是非何れかと云ふに母乳が適當である母乳が出ない爲めとか又母たるもの職業に從事する爲めとか又病氣の爲めとか其他種々の理由で下に母乳を與へることの出來ない場合は乳母の乳を與ふるがよろしいのである此場合は乳母の健康狀態年令習慣乳汁ノ性質等は勿論診査すべきことである母乳の充分あり且差支なきに拘らず人工營養即牛乳を哺乳せしむるが如きに逢遇することゝ是れは甚しき間違である又小兒に新鮮なる空氣を呼吸せしむることに注意すべきである日本家屋は構造上其點は甚だよろしいが小兒は出來得る丈け塵埃多き室内よりも屋外に出して置くことがよい風の吹く如きは恐るに足らぬので寧ろ習慣する程よろしい鼻疾又扁桃腺炎の如き鼻呼吸の出來難きものは肺結核の素因となるのであるから此原因を早く去らねばならぬのである鼻腔は空氣の濾過器と思へば間違ないのである又衣類の厚着は皮膚を薄弱ならしむる原因の一となるものである從て寒冒に罹り易きゆへ其中庸を取ることである帶は緩き位が良く固きに失すれば血液の循環を害し或は呼吸運動を害し或は胃腸の運動を害し或は胸廓の發育を害するものである又衣服の壓迫も悪しきものである何となれば保温に害せず身體の屈伸に不自由で從て運動を障害し發育を不良ならしむることになるのである又小兒に濫りに襟卷をなさしむるは習慣となり一寸取りても寒冒に罹ると云ふ樣になり虚弱となり肺結核の素因を高めることになるのである

●鮮人佛徒の活動

朝鮮寺刹令も發布されたるより今後傳教上大運動を爲すべく中部泥洞閔元植、東小門外花溪寺内洪月初、同宗東和の三氏を始め十餘名の佛敎徒は去る六日午前十時東大門外塔洞寺に集會を開き右協議旁懇和會を催したる結果、佛敎傳道費として義親殿下より金五千圓を喜捨さるゝ事となりたるを以て洪月初氏も即座に五百圓を出金し尙信徒より淨財を仰ぎ中部寺洞金昇圭の家屋を買收し新に一の寺院を建立して從來の陋態より擺脱し大に活動を試むべき計劃なりと

●後貝加爾の鼠疫

東清鐵道滿洲里驛を距る二百八十四露里後貝加爾鐵道線ブリドスカヤ附近に於て四月末線路修築工事に從事せる露國勞働者一名卒倒死亡せし病狀疑はしきに依り檢鏡を行ひたるに純然たる肺ペストなること判明したる由哈爾賓字新聞は報道せしが右に關し大連臨時防疫部より在哈爾賓帝國總領事に問合せたるに檢鏡の結果は果して純然たるペストなるや否や不明なりしも兎に角ペストと同一の消毒方法を取りたり而して患者は卒倒して直ちに死亡せしにはあらず發病後二週間目に死亡せしものなる趣露國官憲より回答ありたる旨通牒し來りたる由

●硝石の需用減少

清人の吉慶祝日等に使用する爆竹の原料たる硝石の如き其消費額多きを以て先年來遼陽には其專賣所たる硝磺局なるものを設け遼陽以南、牛莊、岫巖、鳳凰城、安東縣の各地を管轄區域となし半官半民的組織の下に純然たる官買法を行ひ一面密買者檢擧を勵行し來れるが同局は創立當初より相當の利益ありたるも其後皇帝及び皇太后陛下の崩御に會し賣行著しく減ずるに更に最近安東縣鳳凰廳地方に於ける爆竹使用禁止の發令ありたるより昨今頓に賣行不良となり今は商品の固定するもの尠からずして甚だ不況に陷りたれば同局は或は近く解散の悲運に至るやも知れずと

●全羅南道の窮民

全羅南道に於ては米穀缺乏のため細民の糊口に窮する慘狀は既報したるが河東郡陽面の貴鮮秀外九名の篤志家は籾三十石を同面の窮民百八十五戸七百五十人に施與せり△木浦府多面の朴龍緒は面民の貧民百五十名に籾三十五石を施與せり△羅州郡にて金安面々長淳郡外十六名は貧民二百二十九名に米籾十一石を施與せり△康津郡にては社還米百餘石を貸出して應急の救助に充てたるも少額のため格別の效果なきものゝ如し△靈巖郡に於ては社還米を貸出す計畫中なり△長興郡に於ても社還米千石を貸出すことに決したり

外事一束

▲墨國　革命派首領マデロ歡迎舞踏會に於て同氏暗殺の計畫あり失敗に終る。

▲計畫　は會場に爆裂彈を投じマデロを殺すにありしも未發中に犯人被捕。

▲選擧　墨西哥國假政府は十月十五日大統領の選擧を行ふ可き旨命令發布。

▲葡國　政府は新造兵厰及艦隊費とし千萬磅を支出し英士官及技師招聘。

▲討伐　在奉天趙總督は遼河附近馬賊討を爲め討伐隊派遣の旨を嚴命す。

▲北京　駐在米英獨各公使避暑し佛米獨各公使館國外交は姑く停止の姿也。

▲近頃　金融逼迫の爲め北京にては倒產商人六戸支拂停止商人五軒を出す。

▲露國　露國政府の清國要求條件は對清國貿易に於ける露人不利を減ずも。

▲露國　政府は再び清國に對し高壓的政策を執らず清國官憲の蒙古在任の

▲露人　壓迫に酬ふるに黑龍沿道の清國人排斥を以てせんとする方針也と。

▲英國　皇帝の誕辰祭に當り世界の各國より皇帝萬歲の祝電到來多を極む。

◎新刊紹介

▲家庭の友(六月の卷)　婦人雜誌中健全なる本誌は『女學雜誌の地方婦人に及ぼす惡影響』(横井農學博士)『母親の責任』(矢島揖子)『家庭小話三則』を載せ其他數則あり諷刺ありて女學雜誌として質實なり同誌の特色を發揮せり(定價十錢東京市本郷區東片町新報社)

▲新報知(六月號)　一健雜誌として本誌の記事亦有用の文字を以て充たる大給傳東堀前新報知社)

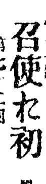
▲東京經濟雜誌(千五百九十七號)東京經濟雜誌(山本教授)工場法(山本教授)我邦移民の現在將來(日野大尉)我邦の(齋藤幹)日本　墨國　武出海兵求の實例(大隈伯爵)日本正金銀行の交迭(社說)等あり(東京市京橋區南佐柄門町經濟雜誌社一部十二錢)

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢
廣告料　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久鉚一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話大三番振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

召使れ初

第七十二回　黑法師



「是非ない事」とお察は深く心を決め

「これは御見物を願ふ外ござりませぬ」

「いや、危い、これは危い、今の手並晴々敗を取らしやるまいが、佐十郎樣は東軍流の達人、彼のお刀の光りを見やの」

「私にも用意ござりまするで、お刀の光り恐うて、武家勤を致すことなりませぬ」

お察は沈着きたる態度なりき。

「お詫びして終む事なら、私は坊主に爲るも厭はぬ、危いことさつしやるなよ」

「いか樣申し上げても、御勘辨ござりませぬで、私覺悟して居りまする、この庭前に降りるが最後、どのやうな事になるかも分りませぬ、けれども、それは覺悟の上、例へ入裂になりませうとも、必ず必ず拂ひ下さりまするな、身から出た錆は、心の誠で研く外もござりませぬ」

「ゝゝ」と佐十郎は急き立ち「ぐずぐずと何を云ふ、さ來、さゝ參れ」

彼はいよいよ威丈高なり。

「さらば奥方」とお察は丁寧に挨拶して、徐々と庭に降り立つ、晴々せし目の色、晴々せし眉の色、紅き唇は花の笑みたる如く結ばれ、白き頰は潮の寄せたる如く彩られて、早速の襷、早速の身構へ、長さ八寸あまりもあるべき見々たる匕首は、佐十郎が二尺に餘る大刀の對手なりき。

「やア〳〵」

物凄きまで嗄れたる聲は、殺氣を帶びて佐十郎の口を洩れぬ、彼の手にせる一刀は眞向に振り翳されて、隼の雀の兒を掴たんとする氣色なりき、されどお察は騒ぎたる色もなく、その前に匕首をきつと翳して、一間ほども距たりたる松の根に突立ちたるお察の姿、白蓮一朶、暴き浪の間を出でゝ、馥郁たる香りを放つ如くぞ見ゑし。

佐十郎は高が女と侮りたる息づかひ荒く、お察の油斷を見出さんとする樣なりしが、やがて「や」と聲掛けて、飛鳥の如く打ちかゝる、その尖頭の閃く邊、お察は異二つになりしかと手に汗を握るもの、お力のみにはあらじ、鶴兵衛のみにはあらじ、草にも木にも憂の色見ゑたるが、お察は閃く刄の光りよりも早かりき、電光の如く身を翻して三尺ほどのうしろに立つ、初太刀をやうに爲し居たるが、時分は好しとや見極めけん、佐十郎が滿身の力を籠めて眞向より切り付くるを、彼の匕首に發矢と止め、餘勢長く裾を拂ふを、飛び上り身を避けてあなやと見る間につと驅け入り、佐十郎が刀持つ右の腕を絞る如く捩ぢ上げたり、その動き目にも止らず美事なりき、人間業とは思はれぬまで巧者なりき。

仕損じたる佐十郎は、眼も眩むまでに慌てゝ、再び此方へ切つてかゝる、う樣蝴蝶の影を逐ふやうよりも早く、又夕陽の水にひらめくよりも鮮かなりき。

お力も鶴兵衛も醉ゐるが如くなりて見、何れに勝負ありてもならじ、双方怪我の無きやうにと、お力は心に僧心の奥を籠め、鶴兵衛は口に神佛の御名を唱へて、瞬きもせず見物す。

斯くすること二三回、佐十郎の尖鋒鈍からねど、お察を擊つには慾なりき、お察は右に拔け、左に潛り、東軍流奥儀に由りて打ちおろす刄を玩ぶ

東京電報（八日發）

●大鳥男爵危篤　國府津に療養中の大鳥男爵今危篤に陷り最早恢復の見込なく僅に生命を繋ぎ居るも到底回復の見込なしと

●柴田總裁朝鮮視察　柴田拓殖局總裁は花倉書記官を隨へ今朝八時二十分新橋發朝鮮視察に向へり廿八日頃歸任の見込なり

●艦隊の暴行　目下横濱に入港中なる米國艦隊の水兵は上陸して暴行を働き其引渡しに關し日米兩國間に國際問題を惹起したり

●濟生會ご朝鮮　濟生會の官民に對する寄附金は總額約三百萬圓に上るべく [illegible]

●遣英宮御安着　遣英東伏見宮殿下一行は七日午前ロンドンに御安着加藤大使山座參事官其他英國官民の盛大なる奉迎を受けさせられたり

●日露條約調印　[illegible]

●東宮妃御快氣祝　東宮妃殿下には來月十日御床拂あり九條公爵以下數十名を葉山御用邸に召させられ御本復の祝賀内宴を開かせらるべしと承はる

●波多野男議員辭職　[illegible]

●宇治艦廣東行　軍艦宇治は [illegible]

●軍事研究會創立　[illegible]

●陸軍大異動近し　陸軍武官の異動は來る八月中旬を以て發表 [illegible]

[illegible] 九月六日を以て [illegible] 一月九日宇佐川中將は十一月十日を以て [illegible] と聞く

雜報

●本年貿易の增進　去る五月中に於ける貨物の移入は五百二 [illegible] 移出は百七十六萬七 [illegible] 之れを四月に比すれば [illegible] 移入に於て九十 [illegible] るが更に昨年一月より [illegible] の貿易額に對照すれば [illegible] 五十萬圓移入に於て七百 [illegible] 萬圓の增加を示せり

●府尹會議開期　道長官會議後七月十日より府尹會議を開會する筈なるが會期は未定なれど多分五日間位ならんと云ふ

●各道授産計劃（十一）全羅南道……

▲經理方法大要　各府郡別事業　各府郡別事業は一養蠶傳習三個乾鰮製造法傳習三個製造傳習五製麻傳習として共同事業は養 [illegible] は十七府郡に之を設け男女二箇處を設置し生徒十人とし桑樹栽培法を三ヶ月間傳習し傳習 [illegible] 無代配付及栽培地なき者には不用林野特賣を受けしめ以て之を保護す敎師を置き傳習期間外は實地指導せしむ

▲漁業の傳習　同道沿岸は島嶼灣入の延長二千六百餘哩に亙り魚族藻類の豊富なる殆んど [illegible] るに漁法極めて幼稚なるを以て之を内地風に改良せんと欲し傳習漁船を置き一隻七人 [illegible] 網漁釣漁の二種を敎へ [illegible] ヶ月乃至十ヶ月とし [illegible] 與し或は組合を組織せしめ [illegible] 補助を給し漁具漁船 [illegible]

▲乾鰮製造傳習　濟州及大靜 [illegible] の漁業地なるを以て [illegible] 製造法を傳習せしむ [illegible] 間は二ヶ月生徒定員 [illegible] は製造用具を分給す

▲海苔養殖製造傳習　光陽郡は [illegible] 産地なるを以て其養 [illegible] の爲め組合を設けし [illegible] し三ヶ月間生徒三十 [illegible] 人を收容して敎習す而して終了後は用具を分與し就職の便を與ふ

▲製麻傳習　谷城求禮の二郡に設け大麻製糸法を實習せしむ修了後は傳習所の固定設備物を使用せしめ其他の小器具を分與し麻の栽培に就ては敎師をして實地の指導を行はしむ

▲莞莚繩叺製造傳習　咸平郡に設け製莚製叺の實地作業を三週間傳習す又傳習後は莞草栽培の爲め肥料を補給し且つ地方費より配置せる農業敎師をして實地指導せしめ製造用具は之を貸與し製造品は取纏め販賣す

▲府郡共同事業　養蠶巡回敎師を置く其目的は養蠶傳習所又は桑園苗圃を設くる二十一府郡に亘り各獨立して受持つべき組織なるが故に相互の連絡を缺き或は支吾扞格を生じ一道の統一を失はしむるに依り故に各府郡平等に其費用を負擔するものとす

●愛婦總會成績　愛國婦人朝鮮本部第二回總會の際各役員係員諸氏熱心盡力の結果男女有志者の贊同加盟したる者頗る多く京城龍山に於ける新加盟者は左の如し

三等有功章佩用者（十名）終身特別會員（六十八名）終身通常會員（二十五名）年賦特別會員（百五十三名）年賦通常會員（二百九十名）贊助員（百四十二名）

●京畿道學校完備　京畿道管内に於ける普通學校の新設は十八校あるが其他巡回敎授のため内地より敎員を招聘するもの十二名あり何れも該敎員等僅かに四五名を除くの外は着任し夫々校は授業を開始し巡回敎授も各地に於て開き殆んど新設計畫は完備せりと云ふ

●犯罪即決調査　本年一月より施行したる犯罪即決狀況及件數等に就て各地方裁判所檢事局に於て目下調査中なりと云ふ

群山特信

六月五日午後五時發特派員

○臨時水利工事竣工式　二拾五万圓の巨資を投し二ヶ年の歳月と多大の苦心とを以て漸く竣成し貯水池の周回八里余其面積一千町歩を超へ貯水量六億立方尺此灌漑區域三千町歩に達し三万石の增收を豫想せられ現在朝鮮に於ては比類無き頗る大規模の臨益水利組合工事は豫定の如く竣工を告げ當地卒先の企業として又理想的水利工事として日鮮人に新たなる感動と典範を示したる該工事竣工式は昨四日擧行の筈なりしも折惡く雨天の爲め順延本日群山港を距る六里半益山郡北一面黃登山上に於て擧行せらる是より先江景より來會せる中村農商工部農務課長を初めとして宇佐美内務部長官代理深尾書記官藤原度支部銀行課長李全州道長官大久保全北內務部長天野群山府尹澁谷檢事全北朴道參與官原群山警察署長岩崎全州農工銀行支配人阿蘇韓銀群山出張所長赤澤江景守備隊長黃咸悅郡守李臨陂郡守洪益山郡守其他群山全州江景海陸各地よりの日鮮官民の來賓一千余名附近韓人の來り會するもの五千水利組合には主なる日鮮官民の送迎に船車を供へて僻遠の地に不便なからしめ式場たる黃登山は周囲八里洋々たる湖水に担へ征の如き萬頃の青田を一眸に收むる絶好の地を選びたるのみならず滿山に爛花の櫻樹を植へて時ならぬ春景色もいと興深く各種の模擬店には群山全州の粹を集めたる紅裙數十餘興としては朝鮮相撲ボートレース藝妓の手踊妓生の舞踏などとりどりの趣向に万端のぬかり無き式場の設備に交通不便なる附近さて藤井組合長川崎理事以下組合員一同の苦心の程も想像せられたり●定刻となるや工事係員の工事經過報告藤井組合長の式辭朗讀終るや中村農務課長は起つて臨益水利組合が率先して此大規模の企圖を遂行したるを祝し且其完成に依つて今後享受すべき有形無形の利益の偉大なるを推賞し猶今後有終の美を濟さん事を警め次で宇佐美内務部長官代理深尾書記官藤原度支部銀行課長李全州道長官天野府尹阪上民長代理其他數氏の祝詞終りて興宴に移り來賓一同組合の成功を祝福し十二分の歡を盡くして散會せしは黃昏にして實に當地方未曾有の盛典なりき追て臨益水利組合事業の内容に就ては改めて後便に詳報せむ

▲人さまざま▼（四十八）

庵原文一君

庵原文一君は朝鮮水産界のオーソリチーである、現に總督府技師農商工部水産課長として劃策する處頗る多い、農商務省水産講習所第一期の卒業生であるから斯道に足を踏み込んで正さに二十一年といふ譯だ、是位永ければ如何な者でも大槪は成功する、處が君と同期に出た連中は三十人もあつたが孰れも沓として其名を聞かない、して見ると何處か君に偉らい處があると見れる、君は非常の勉强家で又水産以外には何物も眼中に無い則ち如何にして魚を捕へようかと夢幼の間にも研究して居る、魚をして言はしむれば君は不倶戴天の讐敵だ、隨分罪の深い役目である、德島縣の人で各水産縣を歷史し遂に朝鮮へ來たのである、蓋し得意の境遇であらう。

●民團稅ご韓銀　去る四月の民團豫算會議に於て韓國銀行に課稅すべきや否やは一問題なりしが併合後に於ては韓國銀行も日本の會社なりとの議多數を占め内々韓國銀行へ交渉したる所銀行にては改正條例實施後にあらざれば稅金としては應ずる能はず但し民團經費中へ相當の寄附をなすことになりたりと云ふ

●養蠶と放資額　一般鮮人の養蠶熱勃興の傾向を示せるは既に事實の證明する處なるが玆に尤も顯著なる事實は昨年の養蠶に對する放資額は全道を通じて僅々三萬余圓に過ぎざりしが本年の放資額は既に三十萬圓余に達せりと之れを以て見ても朝鮮人の如何に蠶業に意を傾けつゝあるかを證するに足るべしと

●桑苗蠶種配付高　本年度其の筋より各道に配付したる春蠶種は京畿慶尙全羅の各道を筆頭とし一萬五千餘枚にして桑苗配布高は二百万本の多きに達したるが之れを昨年に比すれば優に二倍以上なり

●愛婦主催慰問會

愛國婦人會朝鮮本部にては七日午後七時憲兵隊司令部前撃劍道場に於て憲兵隊及警察官の慰問會を開き高峯筑風の筑前琵琶演奏活動寫眞等あり七百餘名の來會者を滿足せしめ十時過散會す

●佛敎會の宣靈式　來る十一日午前九時より當地佛國西敎會に於てドマンジ氏の大僧正に昇任したる披露會を兼ね嚴嚴なる宣靈式を擧行する筈にて當日は當地主なる官民は勿論在鮮宣敎師等一千餘名を招待すと

●海老名彈正氏渡鮮　日本基督敎界の泰斗海老名彈正氏は長田時行、渡瀨常吉の兩氏と共に來二十一二日頃着にて渡鮮の筈にて先由南大門内相生町に會堂建築を了へたる日本組合派基督敎京城基督敎會にては海老名氏一行を迎へて當地に於て擴張傳道を擧行する由なり尙同敎會は來十一日午後二時より新築會堂にて嚴肅なる獻堂式を擧行する由なり

●三田會の例會　當地在住の慶應義塾大學出身者組織三田會にては今回學部囑托として着任の同窓石田新太郎氏の歡迎を兼ね來十日午後六時よりソンタクホテルにて例會開催の由にて同大學に關係を有せし人々の來會を希望せり因に會費三圓五十錢出席者は明治屋内同會幹事溝口氏に申込むべしと

●中村課長歸期　目下地方視察中なる中村農務課長は來る十三日歸任すべしと

●土屋測量課長の出張　土地調査局の土屋測量課長は約二十日間の豫定を以て元山方面へ去る六日出張したり

●大橋主幹の出張　赤十字愛國婦人會の大橋本部主幹は新義州義州中樓の各支部委員部の總會大會に出席の爲め九日出發の筈なり

●前學務課長呈品精算　隈本前學務課長呈紀念品に關し左記精算を發起人總代小田小杉兩氏より報告ありたり

一金百六十圓贊同者三百卅八出金高（内譯）金百十一圓（金盃一個二月二十七日贈呈）金四圓五十錢（葉書三百枚二月二十日贊同者へ通知用）金七十五錢（葉書三十枚送金通知催促用）金四十五圓三十錢（銀製煙草入函五月廿九日贈呈）金三圓六十錢（葉書二百四十枚精算報告用）金四圓（關稅見積金送付）金四十錢（小包料）

公人私人

▲樋都芳樹（陸軍一等軍醫）七日浦尾旅館へ　▲秋元府審（案內新聞主幹）同上　▲柴四郎（代議士）同新義州行　▲專增龍次郎（代議士）同平壤行　▲井波潛彰（本願寺輪番）九日出發

二便

▲はがきだより▼　山靈水神生

事無かりし群山丸の一夜は今靜かに明け初めて、眼に一碧の水と空、雲か山か何處ともなく吹き來る浮世の風の忙しくも呼ぶ人叫ぶ人。船は早や港近きに人の氣配も勇み勝ち乘客の誰れ彼もナチ身支度に落も無き世渡りの分別、有つても無くても差し當り智慧の使ひ道に事缺ぐ身は人並みの、慾も得も無い程睡いわイヤ睡たいわ。そもや馬鹿寢か、フテ寢乎。うたゝ寢して風引くな、兎角身体は大事、まだ／＼望は金ばかりでは無かりけそ。泣き寢入りに根負の水鼻垂るゝ奴は男に非ず。狸寢の空鼾、エーヤー人が惡い、痛くない程つめつた頰を、其儘其手でソッと撫でながら眼元でニッコリ、嬰の泣つれを搔き上げた無名指に、さした指輪のユルクなるまで身の苦勞、よくも茲へか天晴れ健氣な心意氣、見たからは男ぢや男一匹ぢや。イヤ嬉しうて淚が出るぞ、だが開けーク開け、下がる程一方で上る結桿、喰ひ違ひは世の常、餌の差し合せ、乾干びて水氣もない、命氣も絕へて七氣しッャつた日も月も、どうせ暮れては明くる一陽來復、冬の躪りは春ぢやないか。我末だ百花の秋に開くを聞かず、萬事は時ぢや機會ぢや。熟すれば葉末の柿も落つる時節と機運を待とうわ。

會て見た本郷座は高田のハマリ役、芝居の夢からフト目が覺めた、ヘッヘッへれ早う……どうぞ御上陸——入口に立つたボーイの手には靴が光て居る、ガバと撥ね起き頗る急き込むと雖も、此處に至つて安ぞ退付かんや、思ふに中樂の修養より船を我家と取違へけひ、不覺の朝寢、自分ながら若ひ身の行末の我が出世密かに覺束なく、内々心配でたまらず、我ながら十分顏を立て佛頂面で出迎へのランチに乘り移れば、是はしたり天野群山府尹以下一行ズラリ控へたれば少々面喰つてモヂ／＼しながら、兎に角に群山に上陸す。（六月三日群山にて）

▲京城手形交換高▼

六月	金高	枚數
八日	一四五三八五、六七〇	五四〇

内地巡禮日記（十一）

水浪生

五月十三日、モーヤ訪問も答禮も大抵濟ましたから、明日あたりは伊勢路に向かつて出立せんと、今日一日を支局設置の事務の爲めに費す、支局の設置は決して本社事業の發展などと云ふ譯には非ず、只だ中央首都に支局が無くては何かと不便であるから、其不便を補はんが爲に丁度此機會に於て設置したと云ふ迄の事だ。

前號に於て余は余が昨夜京城より接手せし書信中甚だ抱腹に値する記事のあつた事を述べた、ソウして該記事なるものをカイツマンで寫せば乃ち左の如しだ。

君が前觸れなしに内地へ出立た爲めに其筋では大騷ぎだ、爾來君に關する浮說流言日一日と多く、或者の如きは何の根據を持つてか、京城新報は愈廢刊されるなどと噂らしき噂をさへ得意に擴ぎ廻つた程であつた、特に或筋の人の演說はコウだ、曰く君は寺内總督に面會を求めて拒絕された、因つて無余儀も柴田拓殖局總裁及び某男爵に縋り、彼等の取成しに預り、辛ふじて總督に面會することを得たりと云々、アーソレを得意で世間へ流布せしむるどと勉めた小供らしき閑人は誰か、アー閑人、閑人、汝は絕体的の閑人よな。

既に記せし如く寺内總督は其歸任前最も多忙なる際に於て何の形式なしに余に長時間を割いて面談された、政見は兎もあれ總督の態度は之れ牛島任氏の父たる人の態度だ。夫れ之を知らずして總督が余に面會を拒絕したなど言ふのは全然父の心を知らざる一部不肖の子の斷言と云つべーだ。

余は尠なくとも年一回は必ず出京することにして居る、ソレは何かに付けて有益と思ふからだ、併し東京の天氣や空氣や米やは我京城のソレに比して [illegible] もない、晴々した蒼大、濁りの無い空氣、純白な精米、是等は保護を享受する京城人の [illegible] 點に於ては東京人に後れりと云ふべし、[illegible] 某交通學の大家余に語つて [illegible] 東京西京大阪を指して三都と云ふ、されど今は然らず、乃ち東京大阪を指して三都と云ふ、彼れ斯く京城の人口は今後二十年を待たずして百万とならんと、之を聞く京城人たる者豈唯ます可ならんや

東京の進歩が物質上の進歩は驚くには足らぬ、ナル程昨年二百であつた自働車の數が本年は五百に殖へた、洋風の日本橋や帝國劇場が出來上がつた、高架鐵道が呉服橋まで入つて來た、併し併し過去一ヶ年の進歩とか變化とか見るべきものが是だけであるのだ、見よ往來する紳士とか云ふ人達の顏色や、ヒゲの形がホルトガル人のソレに似通つて來た、婦人が [illegible] 被らずして妙なヴェールを被つたりするところなどは西洋の婦人 [illegible] るのだ、彼に到つて疑ふ我東京的文明は其範をラテンに採れるかアングロサクソンに採れるか。

▲茶袋▼

山口商議の頭出現

[illegible] 會員に對て、現商業會議所組織の必要を唱ね、會員組織たらしめんと私案を洩らした▲ソコで翌朝の新聞を見ると麗々と此記事が掲載されて居つた爲め甲傳へ乙知り非常な大評判となつた▲夫は撰擧を眼前に控へた際苟くも會頭たる人の口から斯る問題を叫ばれては、皆人氣を沮喪せしむるのみならず會議所議員の鼎を輕んずる一大事だからである▲實にフトいふ男は怪しからんといふので候補の面々孰れも躍起となり硬談判を持掛けんと寄り／＼相 [illegible] ▲大庭府尹は一寸電話交換手といつた役目で上意下達下情上通の極めて忙しい役目だ▲然るに從來府尹樣といへば仰げぬこいふ大した權威があつた爲め兎角支障が多い▲ソコで此頃部長及有志者八十名はかりを招き天覧の茶話會を催し、府尹でも國家の一機關で忍も隔があるものでない意見のある處は遠慮なく卜碎けて [illegible] ▲斯く平民的に出掛けたものだから孰れも非常の大悅で銘々勝手な熱を吹き中には抱腹絶倒の注文を出すものさへある、而ふして曰く朝鮮人は中々愛らしいものだよ。

△一日一訓▽

借金を以て衣服を造るは恥なりと知れ（米國の花嫁庭訓）

相場電報

[illegible]

●仁川米豆取引所

▲七日後場 六月七月八月 [illegible] ▲八月寄十一圓六十 [illegible] ▲最高八十八錢▲最低七十八錢 [illegible]

●大坂期米電報

▲七日後場 六月寄十七圓 [illegible] ▲七月寄十 [illegible] ▲八月寄十七圓二十五錢▲止二十 [illegible]

ゲンベット勳功爵特約人矢野氏は九日より仁川新町の空地に於て日方四十 [illegible] の觀覽に供すと云ふ

しく日銀監事鮫島武之助氏は七日午後十時四十分南大門發列車にて歸京の途に就きたり

本年は當部所管以外に恩賜事業の一部 [illegible] 度收繭豫想高に就し某當局者の談によれば昨年の三千石に比せば [illegible] 今後數十日を經過するにあらざれば [illegible] 萬石以上に達すべしと

廣告

告別

私儀多年別院に在勤御配慮を蒙り居候處今回大歸仕り本日出發致し候實は一々拜趨御暇乞可申上の處行李匆々取紛れ候間乍失禮茲に陳謝仕候也

六月九日

南山本願寺內 井波潛彰

京城藝妓の半生(三十)

清水席やん茶(二)

姐さん方のれ引立てゝ花も相當に賣つて滿足に年期を勤めて身を退くのに少なからぬ借金があつた、と斗られ話しては或程俳優でも買つたか賭事にでも手を出したんだらうとの疑ひ素人衆として御尤な事で御座んすが實際は決して左樣ではムいません、妾なんぞも來た當時は衣類も相當に持つてましたが本年三月搦翠を出る時にはれ恥かしい着のみ着の儘れ加けに借金は來た當時よりも多くなつて居た、可憐相なものですよ當地で年期で抱へられてる藝妓衆は、身受けを爲れた人は格別年期通り滿足に出られたものは一人も無いと云つて宜い位、何にも妾斗りぢやないのです皆んなが皆んな左樣のです然らば皆んなが不心得女斗りかと云へば左樣ぢやない、左樣ぢやないのに左樣だから察し下さいよ、と、此の答らでは疑問は解けぬ却つて變なものになつた、縱令然らば記者は其の知る所を以て此の疑問の一部を解いて見よう、やん茶は此の事を話すに淚を濺らて居た、夫れ程であるの、夫れを語さぬのは事が樓主の上に係るからである、樓主は藝妓の借金が減るのを苦に病む、流行妓程左樣である、故に賭事を勸める與い物の總見を强ゐる、其の虛榮心を挑撥して引幕若しくは包金を贈らしめ自己を廣告させる、而して其利益……即ち廣告したる事に依て生ずる利益は自家に收めて廣告料は藝妓に負擔させる、廣告料の負擔は尚我儘もなる幾分は回收出來るから併し夫れにも利息が付く其の利息にも利息が付く、食事以多くは粗末極まる彼等の顔色の蒼白てるのは睡眠不足ぢやなくして營養不良である、之れを免れんとするには欲する所の副食物を買はねばならぬ夫れは僅かな額だが毎日の事だから隨分多額に上る、此の金錢は何所から出る當地では特別の場合の外纏頭は遣らぬものゝ樣にしてある、されば其の金錢は何所から出る、皆んな夫れが借金になる、落し紙さへ借金の端だ、其所で奮發して厭な客でも大切に爲る事になる、が又其の收入の六分は樓主と仲居との懷中に入つて終ふ、情操を賣つて得たる金錢さへ斯く不當の手數料を引き去られる無慘とも無慘である、やん茶彼れの借金なるもの出來た事情も多くは此の外に出でない、やん茶曰く『搦翠の姐さんやれ友達は委しに斯うした計畫があるとは知らず餞別を下さつて加けに見送りまでして、エ、淚を流して名殘惜しがつて下さつた方もあつた、如何に都合があるとは云へ、姐さんやお友達を騙した事は誠に面目次第もありません、が事情を話したら許しても下さいましようが夫れは搦翠のれ母さんの身に關係しますから申しませぬ」と云つて居る「夫れは現に角れ前は民さんの妻君になる意氣込みで其の魂膽中だとの事だが眞實か」と聞くと「立派な奧さんがあるのは承知の上なんです、其樣な大それた望はありません」とある、本名はまさと云ふが其の姓はと問へば「松本」と濟ますヘッ人をツケ馬鹿にするないヒッパタかれない要腎しろ。（次は引き續き）

同亭の若千代

滑稽「間拔四人男」

▽いろは亭れてるの凄腕 白糸の入へ廻し开は狂言綺語このみ思はれた現の世現の朝鮮で加かも仁川は公然許されたる娼家ならぬ宮町三丁目の小料理店いろは亭の酌婦にして一夜四人の客を操りたる滑稽談あり、此の姓名をれてると云ふ、に背かぬ美人なるが加けに心根が優しいと一度其の接待を受けた連中が其だ怪しい鑑定吹聽、來口は金を撒かし市に三虎を出すとさへ申す其の來口に難し立てるにぞ鉛はどでもない風流兒の心は入棒の飴細工が宵越蜜か如溶けた量見に金錢を添へて注き込んで後朝の別れ路に『アラれ羽織い樣が』とで來ようものならア、ア見上げた御シンチエだと壁がれ神輿を拜むかの如なことを申して足元の暗いのには氣が注かず見上げて斗り居る人の數も多かる中にも仁川屈指の大會社の社員の誰れ彼れたい、いならでは夜は明けない夜が明けないと發電の原料が餘計に要るスレば同社の損になる而して見ると吾々がれていゝを愛するのは公共犧牲心の發動からだと勝つた熱に浮かされての世迷言も自分の耳に丈けは尤もと聞いて喜んで居るとか夫れは扨て置き去る四日の夜同所仲町通りに片假名で書いて表札を門に掛けてる○○さん友人三名を語らうて芝居見物に行つての歸りは孰れも別れ〳〵無事歸宅せられし筈の四人の宿所に設けられた床は空で揃ひも揃ふていろは亭に壁一重宛を隔てゝ寢て居た迄は無事なりしが何誰も勤めの身の何時迄寢て居る譯には行かず女の居らぬに不審しながら帶引き締めて立ち出づる廊下でバッタリ出會つた四人、オヤッと八箇の眼を圓く『拔駈けの罪は互ひとして、僕はれてるを揚げたのだが君等」はと聞いた三人エーッと仰天、「ヤ見下げ果てた阿魔だナ」

緣は異なもの

△添はして行りたい二人間 原籍佐賀縣西松浦郡大川村字大門當時仁川花町二丁目住會藥行商ォ一二商會の仁川出張所員加藤丈吉(三十)は總督府高等官の服裝宜敷で腕には金筋三本金筋帽も同じく金筋でォ一二の藥を肩に掛け風琴手にして市中を朝から晩まで辛抱よく廻り歩て幾分の貯金も出來しに去る四月頃より花開洞一統一戶李漢卯の抱へ蝎甫明玉(二十六)が右の加藤に岡惚れして毎日加藤が通る度每にチョイトあなた〳〵と日本語で以て加藤を呼込むより加藤は藥の御用と早合點何の藥が入用なのですかと問ふと否やよ私あなたの女房に成りたいはと淚流して一生懸命に說きけるより加藤は恐々ながらウンと承知しければ明玉の喜び如何斗り天にも昇る心地して遂に一夜の契りを結びしより加藤の思へらく色は思案の外とやら矢張り情に於て日本人も朝鮮人もあるものかさ今度は加藤も共に夢中に成つての大逆上夫れより加藤は毎日我家には歸らずして明玉の傍で寢食を共にして居ると云ふ有樣に加藤も少し斗りの貯金は費ひ果して仕舞しに明玉よりは身受けの相談と成て兎やせん角やせんと思案し居たる去る五日の事明玉の實母李氏及同抱主の李漢卯の二人が相談して前記の二人が馴れ合てからは明玉が他の客を取らぬので商賣に成らぬより他に明玉を轉賣せんと企て交涉中なりしを明玉が聞付け早速加藤に告げければ加藤は大怒りに怒て明の母及李漢卯方に怒れ込で亂暴を働くより止むなく李は他人の仲裁を求めたる處加藤の曰く身受金四十圓は目下內地の兄に申込中なれば其の中に着命次第明玉を引取るから夫れ迄他人に渡さず置て呉れと嘆願して居るに李は何分にも聞入れず目下大紛擾〳〵中との評判

京城の電話は不便だ

△百福號と井門の政子 ツイ先日の事井門本店に電話を掛けて政子に來て貰ひたいと云ふ人がある、有難う御座います宅は何方樣で、只今直ぐ伺はせます、本町の百福號です、チーンと響く結話の音を聞き流して取次人は斯くと政子君に通じた、委細承はつた政子君、生れ變つてでも來なければ此の上美くしくはなれないと云ふ程他所行きの飛切り極上に化粧込んで護謨輪で乘り着けた百福號「今晩は」も申上けぬに商賣巧手の仲居さん「オヤ入來いまし……先日れ尋ねになつた石鹼、エ、ト左樣〳〵キューチユキユラも參りました、其他新流行化粧品も新着しました、マア御覽になる丈けでも、コレ小僧やれ出花を…」息も次かぬ鮮かな口上に大抵のものなら照れて終ふ所流石は政子クン「左樣、歸りに拜見してよ……れ座敷は何方なの」「ハヽ御串戲姐さんの行しやる處は私には判りませんよ、御忘れですか何んならお家へ問合はしてへヱ」「惡山戲ちや嫌よ、タッタ今此家樣から電話で直ぐ來いて仰云つたから來たのよ行く先を忘れる程惚碌して居ると思つて下すつちやれ恨みよ」と少々癇癪の蟲が頭を擡げる「アッ夫れは間違ひ大間違ひのコン〳〵チキャコンチキで す……何んな顔の人でした」「電話ですもの顔の人が見えるものですか…」と云つてるぢやありませんか」と勝氣の女だけに口惜しさも人一倍「アッ左樣〳〵電話でも顔が見へる如にーなくつちや斯う云ふ事があつて困る」と仲頭君同情の腕を拱んで考へ込む『今考へても駄目よモウ』ブリ〳〵憤つて家へ歸つてからの機嫌『口を掛けて來た人の顔位ひ見て置かないつて事があつて』と頻る恐縮した取次人『電話ですから』とやると『京城は不便だねえ』

安命根等起訴さる

今春內亂未遂犯として檢擧されて以來京城地方法院所伊藤檢事の係にて審理中なりし安命根外十七名は强盜犯强盜殺人未遂及保安法違犯で審理決定し八日保檢事より起訴されたり

●地神から貰つた

北部廟洞百二十六統四戶金倉煕(二十)は五月三十日午後九時本町一丁目入江縣服店にて縮緬兵古帶一筋を竊取したる廉にて檢事局に送られ公判の際裁判官の問ひに對し竊取したるにあらず土地から貰つた即ち拾つたのだと申立て裁判官を苦笑せしめたりと

●明巢覗ひ捕はる 仁川港外永宗島松山里徐貞善(十五)は仁川內里韓洞任澤永方に雇はれ居たるに去六日午後十一時頃主人の不在を窺ひ金二十一圓九十錢及銀指輪二個其他雜品入の金箱を竊取し逃走し何喰はぬ顔で七日午後二時平洞を通行し居たる處を金巡査に捕縛され昨日檢事局送りとなる

●給畫の心得記者入用

希望の方は履歷書携帶至急來談あれ 京城新報社

●物騷な物を盜む 住所不定朴東植(二十三)は一日午後四時頃水標橋通り一丁目六番戶吉本惠七方店頭にて石油罐一個(代一圓五十錢)を竊取し檢事局に送らる

●盜難 日ノ出町百二十八番戶小山なつ方にては七日午後七時より九時迄の間に於て金品二百八十餘圓の盜難に罹りしと

●拾得 仁川松坂町二丁目本間次郎作は七日午後六時頃京町一丁目にて銀煙管を拾得屆出づ

廓のうはさ

▲仁川元耶馬溪の仲居の一人、妾はね水鳩の某役所の松川さんにれ立替があるのですが返しても下さらないのでホントに困るワ今返して下さると起工式の祝儀に未だ合うから帶でも買へるんだのに、何んて間が惡いんでしょう▲仁川敷島第一樓の松江は先日甘く逃げだしたスーちゃんの處へ行かうと思つたにトウ〳〵見付けられてサン〳〵叱られた、なんて間が惡いんでしょう▲岡ヒく淺岡の君枝は年明きになつたら是非女房に欲しい女房に成りたいどれ安くないのが有るのだが誂へ向きの色男先立つ金がないので溜息ックく何んて間が惡いんでしょう（風聞子）

●歌舞伎座 京都派劇翠香團龜田俊之助一行にて連夜の人氣を吸收し大好評を博しつゝあるが九日の替藝題は「妻鹿」全八齣來にて頗る賑かなもの由猶時間餘りあれば喜劇「女天下」を附くると云ふ

●歌舞伎座評判記

瑞夢生投

小分命太、當生高田剛藏(神邊)當生武田六郎(武田)惡漢高輪駒藏(竹內)村上鴻之助(月岡)保險會社員服部大藏(山田)女中れ駒(松浦)實生三輪昇(小松)新納令孃緒子(木村)新納甲舍(實多)田舍娘れどん、女俠れ辰(柴田)書生秋山謙(淸水)刑事松本(江川)岡田屋吉兵衛(森本)惡漢熊吉(鈴木)義賊三ケ月淸太(龜田)

七日夜歌舞伎座に於て開演し『好評を博しつゝある新派劇翠香團龜田一行の腕前を見んと暇を盜んで覗く事にしたが當夜の藝題は『鞠の罪』と云ふので果ならぬ拵子の境遇と輕薄な繼母との對照が脚色だものである筋を言ふと長くなるから略し○○には罪に各役々に就て評してみよう神邊の石山夫人貞子は宜敷師阿川と不義をなし夫義則を寄宿し眞實子花子に石山家の跡目相續をさせんと長男として育て擧げた拵子の義夫を虐待すると言ふ不貞の女だが爲種に於て大程迄憎々しい處が受取れなかつた然し各役共に落度なく遣つてのけた所に苦心の跡が見へる○龜田の叔父石田義正は少し嬉し過ぎたが流石此座の長だけあつて五幕目のだれ場を良く引しめて居たのは嬉しい孫に貞子の行狀をそれとなく詰つて罵しるあたりは頗る痛快で大向ふの湧くが如き喝采を博した山田の阿川は前年の棺落學生時代より後の宣教師となつてからの方が面白く見せた○松浦の石山花子は未製品喜多の陸軍少尉安田は性格其人らしく演ていたのが良かつた木村の拵子の實母咲子は此優らしく咽喉を痛めたせいか臺詞が觀客に充分通らなかつたは御氣の毒である○柴田の召使れ新は妙に遣りのけたはうまいものだが缺點を言へば未だ落着が足らぬ武田の拵子義夫は演にくい役をたれ無く活躍してくれたのは實に見しいものは此優だろう總じて全員が擧つて小氣味が良い通じて當夜の當…藝なて熱心且眞面目に之事輪を以て演てくれたは大いに感謝する次第である希は開演中今一度當狂言の登場を望むと同時に將來同園の發展成功を祈つて置く

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目
田中友吉商店
電話九九三

ビール
サッポロ
アサヒ
緑陰とビール
快味云ふ可からず

嶄新建築材料
◎マルソイト便利瓦
◎石綿セメント瓦
◎P&B建築用紙
◎P&Bフエルト
◎P&Bアスフアルト
◎吉田木材防腐劑
京城永樂町二丁目
東京 藤原京城支店
(電話一八九番)
◎特許自働窓框止
◎建築用金物類
◎壁紙及硝子類
◎リノリユーム敷物
◎鋼鐵中心飾
◎鋼鐵打出天井板
工事見積等は懇切に御相談に可應
御用命の節は御一報被下度候

資本金五百萬圓
本店 東京日本橋區呉服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戸
電話番號 一六八一番
東京建物株式會社京城派出所
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築
建築費用は尤も薄利に請負ひ申候又月賦償却金一千圓に對し五ケ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候
今や好期續々直接に御申込を乞ふ

牛馬犬猫治療所
入院随意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長 小川亀太郎
(電話四二七番)

株式會社第一銀行京城支店
資本金一千萬圓
積立金六百〇五萬圓
明治六年設立
京城南山町三丁目
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
電話 一一番 六一一番
振替貯金口座朝鮮一一番

朝鮮牛乳及種牛改良元祖
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優良なる洋牛而已なるが故に搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舎及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
消毒純良
高等牛乳
京城南大門外
荒井牧場
(電話一〇五六番)
龍山本町三丁目
龍山販賣所
(電話二〇二番)
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

專賣局販賣品
土耳古
紙巻金口
SKS
エスケーエス
特約販賣店
京城辻屋 龍山眞田 木浦沖永 馬山松川
平壌喜昌洋行 鎭南浦宇津木 公州片芝

文房具
和洋紙
測量器械
シノサキ本店
日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所
京城本町一丁目
(郵便局前)
電話七百五番
電話長六四八番
振替口座朝鮮一五四番

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

總督府及諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
電話四〇番 本町三
電話七三二番 南大門驛
電話九四八番 大和町
電話一六〇八番 同 第二

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所
仁川
八景園
(電話五五二番)

喜谷
實母散
東京中橋 本家 喜谷市郎右衛門

朝鮮代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房

其の一
最近の光榮!!!
純白無鉛のクラブ白粉は
畏くも
皇后陛下より 四月二十五日
東京勸業展覽會に於て
御買上げの光榮を得たり
クラブ白粉最近の光榮

其の二
最近の光榮!!!
三月二十日
石鹸以上のクラブ洗粉は
東伏見宮殿下並に
同妃殿下
御渡英中の御用品として
特に宮家より多大の御用命を賜り
三月二十四日謹で上納し奉る
クラブ洗粉最近の光榮

薄口醤油
や
特約販賣
仁川 京城
高雄支店

高等牛乳
滋養壯強
京城南大門外
韓國畜産會社
電話八八番

特製
寶味噌
御料理向

別製
鐵花味噌賣出

仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

入院随意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士
中島貞信

美江 公州 間 定期出帆廣告
美江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時美江着後四時半船内
御客様の娯樂用として新聞雜誌碁將棋
盤等の備付あり
京釜美江驛前 中條運送美江支店

キ
六月中 瀛船出帆廣告
海州行
海州丸 日、十二日、十六日、
安東丸 廿日、廿四日
海州丸 日、十日、十四日、十八日、廿二日、廿六日、三十日、
瀛津富里浦屯串行
三省丸 日、九日、十三日、十七日、十九日、廿一日、廿四日
三吉里海倉舊島行
政歙丸 日、九日、十七日、廿二日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七二番七五〇番